

# たく

12 2019  
月号 No.99

発行 多久市社会福祉協議会

〒846-0002 多久市北多久町大字小侍 45-31  
TEL 0952-75-3593 FAX 0952-75-6590  
E-mail welcome@po.saganet.ne.jp

## 第7回 多久市社会福祉大会を開催しました。

第7回 多久市社会福祉大会を11月24日(日)、  
多久市中央公民館で開催し、約200人の方に参  
加していただきました。

あおいとりこども園園児の元気なおどりで開幕  
し、第一部、様々な地域福祉の分野で、永年活躍  
された方々の表彰、第二部記念講演として福岡県  
久留米落語長屋世話人笑つ亭風太郎氏に「笑門来  
福 笑ってのばそう健康寿命！」をテーマに「笑  
いと健康」について漫談を交えながら笑いと語り  
を皆さんへ届けて頂きました。表彰者の皆さん、  
本当におめでとうございます!!



お楽しみ抽選会



福祉作業所等の販売





# 表彰おめでとうございます

## 多久市社会福祉協議会表彰

1

**民生委員児童委員（9名）**

（順不同、敬称略）

「民児童委員として地域社会の民生安定に寄与」

江口比左善（別府1区） 小路弘子（羽佐間）

藤田千津子（西の原） 武富忠信（四下）

江口光幸（横柴折） 野中孝子（高木川内）

諸石洋子（砂原） 寳藏寺厚子（筋原）

小川直代（四下）

2

**社会福祉関係団体役員（4名）**

「永年にわたり社会福祉関係団体として社会福祉の向上に

松本利秋（身体障害者福祉協会）

高塚輝司（老人クラブ）

山口豪仁（老人クラブ）

堀越康子（老人クラブ）

3

**福祉施設職員（1名）**

「永年にわたり福祉施設職員として施設福祉の向上に

寄与」

陣内秋子（しみず園）

4

**ボランティア（個人1名）（団体1）**

「永年にわたりボランティア活動により地域福祉の向

上に寄与」

山崎昌治（多久市ボランティア連絡協議会）

多久美化クラブ（代表 南里力子）

寝たきり介護（1名）

「永年にわたり寝たきり家族を介護された功績」

5

貝原 信代  
（永年勤続民生委員児童委員）

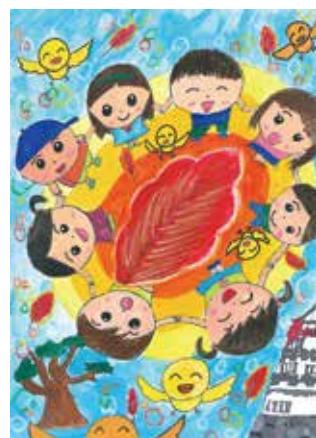
【全国民生委員児童委員連合会会長表彰】（令和元年8月）

伝達

令和元年度佐賀県共同募金会オリジナルポスター最優秀賞

## 赤い羽根共同募金

### 「しあわせを みんなでねがう あかいはね」 (令和元年度 赤い羽根標語最優秀賞)



今年も令和元年度赤い羽根共同募金運動が10月1日（火）から、全国一斉に始まりました。赤い羽根共同募金は、高齢になっても、障害をもっても多久市内で安心して暮らすための地域福祉活動に、また、佐賀県内の広域的な活動や災害支援を推進するための財源として活用されております。市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、今年も皆さんとともに共同募金運動を進めてまいります。みんなが暮らしやすい町になるための一歩として、皆様の温かいご支援やご指導を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

### 多久市内への共同募金の使いみち

配分金を活用する、市内の福祉活動の一部をご紹介します！

地域福祉活動・ボランティア活動育成のために

**1,489,000円**

- ・学校ボランティア協力校への助成・身障相談事業
- ・ボランティアスクール・おもちゃ図書館の運営
- ・災害ボランティア研修会
- ・社協だより(年3回発行)
- ・ボランティアの集い・ふれあい広場
- ・住民参加型有料在宅福祉サービス「わかちあいの和」
- ・住居内整理整頓支援事業

子育て支援事業のために

**350,000円**

- ・新生児に絵本の贈呈・子ども観劇会の開催
- ・母子寡婦福祉連合会への助成

**共同募金は税控除の対象となります。**

株式会社等の法人寄付は、「全額損金」となります。  
個人の寄付は、「所得税・住民税の控除」となります。

### 「安心・安全なまちづくり支援事業」の紹介!!

公民館にスロープ・手すり設置など、地域で暮らしやすいまちづくりを支援いたします。詳細については、  
多久市社会福祉協議会 ☎75-3593 担当：木戸まで、お気軽にご相談ください。

配分金額 200,000円 過去支援事例 H28年度：大門公民館 スロープ・手すり設置  
H29年度：西ノ谷公民館 スロープ・手すり設置  
H30年度：浦山地区街灯LED

# 福祉通信

多久市社会福祉協議会の事業や地域福祉活動の情報を届けします。

9/  
9  
月

## 災害釜について

今年度も日本赤十字社佐賀県支部多久地区交付金により『非常食炊飯移動かまど』を西多久町公民館へ配置しました。被災時の炊き出し活動・地域防災活動において活用していただきたいと思います。今後とも、日本赤十字活動のご協力をよろしくお願いします。



10/  
11  
金

## 多久市地域貢献推進協議会 令和元年度全体会議及び研修会

令和元年10月に『児童福祉舎チャイルドサポートたくちゃん』が新規参加となり、参加法人は19法人となりました。全体会議では、協議会の活動について活発な意見交換がなされました。研修会では、お互いを知ろうというテーマのもと、参加法人の事業紹介等を実施し、多くの学びを得る機会となりました。今後の多久市地域貢献推進協議会の活動にご注目ください。



10/  
15  
火

## 福祉体験学習事業『高齢者疑似体験』 in 東原緑舎中央校

平成30年度に引き続き、今年も東原緑舎中央校5年生の総合学習の一環として、多久市内の福祉団体で構成する多久市地域貢献推進協議会の会員（天寿荘、けいこう園、ホーム西渓、こばと保育園）、多久市ボランティア連絡協議会の皆さんとの協力を得て、高齢者疑似体験学習事業を実施しました。体験を通して子ども達は『おじいちゃん、おばあちゃんの気持ちが分かった』、『やさしく接してあげたい』と各々気づきを得たようで充実した時間になりました。



10/  
24  
木

## 鬼子母神祭

児童の健全育成と安全祈願のため、令和元年10月24日（木）筋原公民館にて鬼子母神祭を行いました。



◎本覚寺住職による祈願の様子

10/  
26.27  
土日

## 赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました!!

募金総額 57,139円

多久駅周辺で開催された「第49回 多久まつり」会場に於いて、ふれあい広場（赤い羽根イベント募金）を実施しました。両日ともに晴天に恵まれ、多久市ボランティア連絡協議会の皆さん、多久高校生徒さんが募金活動に協力いただき、多久市のボランティア団体「ほたる文庫」さんの手作りバザー品の販売や、災害食の試食会を行いました。

ご協力をいただきました皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



災害食



共募マスコット あいちゃん

## 一支援の輪が広がりましたー

センターを開設し、災害ボランティア活動の支援を行ってきました。

市内林道



天ヶ瀬地区



ボランティア活動



ボランティア受付



## 多久市災害ボランティアセンター (令和元年8月29日～10月28日)

佐賀県内では、8月27日から28日にかけて、広い範囲で記録的な大雨となり、床上・床下浸水や土砂崩れなどの被害が発生しました。多久市内においても、95行政区1,165箇所の災害報告の受け付け、床上・床下浸水併せて167件、河川・林道・農地併せて850件など（10月31日現在：多久市発表）、家屋や農地などに大きな被害がありました。

こうした被害状況を受け、多久市社会福祉協議会では多久市災害対策本部や佐賀県社会福祉協議会及び県内外の社会福祉協議会との協働により被災状況の情報共有や現地調査を行い、8月29日には、「多久市災害ボランティアセンター」を設置しました。また、同時にセンター開設のチラシを全戸配布し、困り事の相談やボランティアの受付を開始し、北は北海道から南は沖縄と全国各地から多くのボランティア（延1,177人）に参加いただき支援活動を行いました。

9月19日からは、登録ボランティア制度に移行し、被災された方々の生活場所の復旧や生活支援活動などを行いました。ご協力・ご支援いただきました全ての方々へ、心よりお礼申し上げます。

## 全国各地から多久市へ

## 多久市社会福祉協議会では、多久市災害ボランティアセン



社協職員がボランティア活動場所を調整



センター開設(ミーティング)



ボランティアさんへ活動資材を受け渡し



民生委員さんにも協力をいただきました



送迎車両・送迎ボランティアの協力をいただきました



ボランティア活動前に留意事項を説明

ボランティアの受付人数 1,177人

ボランティア依頼数 149件  
(キャンセル等含)

作業完了件数 141件



## 義援金・支援金寄付のご報告とお礼

義援金協力団体名及び個人名 (社協受付11月10日現在:敬称略・順不同)



## 令和元年8月豪雨災害義援金



- ・多久保育園保護者職員一同
- ・佐賀県立多久高等学校
- ・多久市グラウンドゴルフ協会
- ・NPO法人 FFS 副島 美佐子

243,319円

## 多久市災害ボランティアセンター支援金



- ・真如苑
- ・匿名2名

306,000円

皆さまから寄せられた義援金は、日本赤十字社・中央募金会を通じて被災地へ配分されます。

支援金は、ボランティアセンター等の運営に充てられ、被災者支援に役立ててもらう寄付金です。

皆さまの温かいご支援、ご協力に感謝申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

## 令和元年度 ボランティアの集いを開催しました

6月30日（日）、多久市社会福祉協議会にて「令和元年度ボランティアの集い」を開催しました。講師に葉隱自然塾「吉永雅紀」塾長をむかえ「誰にでもできるボランティア」について講演をいただきました。

できることをする、無理をしないボランティアについて、佐賀弁、多久弁を交えたユーモアたっぷりのお話でした。

多久市内の各ボランティア団体の皆さんをはじめ、大勢の方にご参加いただき有難うございました。



## 24時間テレビチャリティー募金～2019～

8月24日（土）、多久高校、西渓・中央・東部校の生徒さん、各福祉施設・事業所、多久市ボランティア連絡協議会の皆さんによりご協力を頂き、多久市内4ヶ所で街頭募金を行いました。お寄せいただきました募金は、「24時間テレビチャリティー委員会」を通じ、福祉車輌の贈呈や地球環境保護支援などのさまざまな活動に役立てられています。

皆様の温かいご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

募金総額

157,583円



## 会場・ボランティア協力者の紹介

## (会場)

コンビニエンスストア・ファミリーマート佐賀多久店・フードウェイ多久店・タクア

## (協力者)

東原痒舎東部校・中央校・西渓校・多久高校・多久市ボランティア連絡協議会、ホーム西渓、天寿荘

10/30  
(水)

「第13回 はばたけ！ボランティアin嬉野」  
に参加しました

嬉野高等学校の介護にわかを皮切りに、嬉野市のボランティアグループの活動紹介、レクリエーションを交えた講演は、とても充実したボランティア研修となり、あっという間に時間が過ぎました。

今後のボランティア活動の参考となるとても有意義な研修でした。

これからも、楽しみながらボランティア活動を続けていきたいと思います。



## 市民後見人 人材養成研修のお知らせ ~受講生の募集~

成年後見制度は、判断能力が十分でない方に対して、財産管理や生活にまつわる契約などの手続きを行っていく制度です。佐賀県では、初となる『市民後見人の養成研修会』を開催し、市民の方も後見人の担い手として活動して頂くことを考えています。

■対象 多久市に居住の方（弁護士、司法書士、社会福祉士の方は除く）

■日程 1月19日、1月26日、2月2日、2月9日、2月16日の5日間

■場所 佐賀県社会福祉士会館（佐賀市八戸溝一丁目15番3号）

■締め切り 12月16日 ■参加料 無料

■定員 20名（志望動機の作文400文字程度を郵送頂き、書類選考となります。）

■連絡先 公益社団法人 佐賀県社会福祉士会 ☎0952-36-5833 FAX 0952-36-6263



## 集いの場

### ふれあいいきいきサロン 「♪元気のもと♪」開催 (^\_-)☆

現在、多久市内では42団体、819名の方々がサロン活動を行われています。

今回は、武雄市レクリエーション協会会長 森恵美氏を講師にお招きし、『サロンで生かせるレクリエーション』をテーマに、道具を使わない指運動・じゃんけん遊びやテープを使っ

たグループ対抗戦を皆で楽しみ、森先生のユーモア沢山のお話を聞きながらあっという間に時間が過ぎていきました。会場いっぱいに笑い声が溢っていましたよ !(^^)!

実施者の皆様自身も、楽しみながらサロン活動を続けていきたいとの声を聞くことが出来ました。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



## シルバー人材センター

毎年10月はシルバー普及啓発促進月間となっており、10月18日（金）をシルバーの日とし、ボランティア活動を行いました。当日はあいにくのお天気でしたが、草刈と除草作業を行いました。



シルバー人材センターでは一緒に活動する新しい会員を募集しています。興味のある方はお問い合わせください。  
連絡先 ☎0952-75-4787まで

令和元年度  
子育て支援事業

### 子ども観劇会を開催します



### 劇団さんぽ「ぼくのたからもの」



日 時 12月26日（木） 13時45分開場 14時開演

場 所 多久市児童センターあじさい 2階多目的エリア

対象者 なかよしクラブ、未就学児とその保護者



